

# 事例紹介大学等のプログラム概要【各地域での実施】

## 〔 東 北 地 区 〕

### 1. 筑波大学（平成 20 年度選定）

プログラムの名称	共創的コミュニティ形成による学生支援 －学生・教職員が一体となった新たな自主的活動の創生
<p>（プログラムの概要）</p> <p>本プログラムは学生の全人的な成長という目的を達成するために、学生・教員・職員のすべてを大学の人的資源と捉え、そのネットワークを土台として学生の主体的で多様な活動を大規模に創出させる新機軸の学生支援プログラムである。</p> <p>この仕組みの全体を「つくばアクションプロジェクト」と名づけ、そのなかで、潜在力を持ちながらも停滞感を抱いている〈中間層〉の学生を含め、あらゆる学生の自主性と社会性の育成を図る。具体的には、人材データベースを構築して学生および教職員各人の特技や関心について検索可能にし、これを活用してメンバーを募りながら、学生自身の発案による多彩な企画を実現したり、また教職員が提案した企画に学生の参加を促す。</p> <p>学生と教職員が一体となって作り出すこの共創的コミュニティにおける流動的でアクティブな諸活動の蓄積によって、現代社会が必要とする、創造性とコミュニケーション力を備えた人材を養成する。</p>	

### 2. 國學院大学（平成 19 年度選定）

プログラムの名称	学生みずから発信する「自分史」作成支援 －社会のなかでの自己活用力養成プログラム
<p>（プログラムの概要）</p> <p>國學院大学では、徳性の涵養を謳う建学の精神に基づき、全学的学生支援に取り組んでいる。独自に開発したWeb学生支援システム K-SMAPY を活用することにより、役割分担を超えた支援を実現すると共に修学相談、キャリア形成支援、保護者会における人的支援を充実させてきた。さらに情報セキュリティを強化して社会的責任を果たすため、ISO27001 を取得し、認証評価を通じて教員・職員の意識とスキル向上を図っている。新たな取組では従来の支援による成果を分析した結果をふまえ、コンピテンシー診断を導入して学生に「振り返り」と自己発見の機会を提供する。同時に学生の意識改革と人間的成長を促すWeb版自発的ポートフォリオの作成を推進していく。学生は「自分史」を作り上げる作業を通して視野を広げ、社会人基礎力を育むことになる。これによって中途退学者を減らし、社会的課題であるニート・フリーター対策にも資するプログラムとする。</p>	

### 3. 女子美術大学・女子美術大学短期大学部（平成 20 年度選定）

プログラムの名称	美大でのリエゾン型キャリア形成支援の展開 －キャリアポートフォリオを携えてソーシャルデビュー
<p>（プログラムの概要）</p> <p>本取組は、初等・中等教育機関、企業等と本学のリエゾン（連携）により、学生達がキャリア形成を通し社会・地域等との関係性を育む実践プログラムである。</p> <p>アートツールとして使用する美術大学の作品ファイルを、一般大学の学生の自分史、自己表現のメディアへ汎用化する試みでもある。本学は学生の表現活動の範囲拡大を目的に全学で作品ポートフォリオ制作に取組み、学生自身の社会性獲得を実現する。</p> <p>手始めに、学生の学習履歴を記録しキャリア形成を支援する電子ツールを開発し、実物と電子のキャリアポートフォリオとして学生の人間的成長の足跡を残し、教職員、卒業生、企業人との豊かな交流を促す。</p> <p>またキャリアポートフォリオを学生のピアサポートに用い、卒業後の表現者の揺籃期と、さらにそれ以降を継続支援する卒業生サポートのデータベースとしてアーティストアーカイブスに進化・発展させ、学生が社会へ繋がるリエゾン型キャリア形成支援を展開する。</p>	